

発行所
東京都台東区元浅草2-10-11吉延ビル
〒111-0041 電話03(3847)2124HD
株式会社 警備保障新聞社
発行日 毎月5・15・25日発行
購読料1年・送料共31,500円(前納制)
Eメール keiho-news@mts.biglobe.ne.jp
http://www.liz.biglobe.ne.jp/~keiho-ny/

警備保障新聞

昭和53年3月10日第3種郵便物認可

時代に対応 ISMS 認証取得

アサヒセキュリティ

アサヒセキュリティ(東京、光井良之社長)は、10月28日付けで情報セキュリティマネジメントシステム(国際標準規格である「ISO 27001」)の認証を同日取得した。認証は本社をはじめ全国のオフィス、サーバイトを含む全10事業所におよぶ全社規模で取得、認証範囲は

機械警備、貴重品運搬警備・集配金サービス(VEDES)。認証番号は0143812005A1S1K0BJ1PDEC。認証機関はデットノルスケベリタス日本支社が担当した。同社では顧客の情報資産に対する適切なリスク管理を最重要課題と位置付け、昨年、プロジェクトチームを発足、認定取得に向けて準備を進めてきた。すでに集配金業務を対象範囲にISO 9001の認証を取得していることもあり、その経験を骨組みに、ISMSでは機械警備も含めた業務に取得範囲を拡大、社内での情報に関する適切な管理を構築、11月15日に本社内で認証機関から認定証を受け取った。ISMSの

認証取得は、企業における情報セキュリティのレベルの高さを対外的に立証するもの。アクセス権を持つ者だけが情報を管理する機密性、処理方法の正確さを完全に保護する完全性という要素だけでなく、情報を資産として必要な時に確実に活用できる可用性も併せて必要で、システムとして運用していくバランスが求められるのが特徴。同社では今後、情報セキュリティの質をさらに高め

JSS

JSS(東京、倭文浩樹社長)は、情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)適合性評価制度における認証基準Version 2.0の認証を11月22日付けで取得した。29日に認証機関である東京・中央区のマネジメントシステム評価センター本社内で認定証の授与式が行われた。

認証番号はMSA1S10、コンサル業務にはアローポイントパートナーズがあたった。同社は今年2月、品質マネジメントシステムの国際規格ISO 9001の認証を取得したが、直後にISMS認証の取得にも着手、社内にて委員会を立ち上げ、準備に取りかかった。IS



認定証を受け取る光井社長(右)

0での経験を、合評方式の入札への対応策として、業界でもいち早く取得に踏み切ったと話す。管理者を特定することで顧客情報や警備員名簿の漏えいを防ぎ、大地震が起きた時のデータの消失を防止するなど、同社における情報セキュリティの信頼性・機密性を向上させるとともに、資産としての運用が可能。衛生管理、さらさらアル対応などの面が強化される新規格ISO 27001への切り替えにも積極的に対応していく考え。

「放債車両確認事務所の受注にも有利と考え、入札手続きに間に合うよう計画を立てた」と、今後増加すると、全社、全業務で取得を果たした倭文社長予想される(左)と山井事務

